

公益財団法人8020推進財団
令和4年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：東久留米市内の保育園における口腔衛生指導

2. 申請者名：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会 会長 北村 晃

3. 実施組織：一般社団法人東京都東久留米市歯科医師会、公益社団法人東京都歯科衛生士会
東久留米市役所

4. 事業の概要：幼いころから良い生活習慣を身に着けることは大切です。歯みがきを通じて歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せて良い食習慣・生活習慣を身に着けてもらうことを目的とします。8020 達成への初めの一步として、乳幼児期から歯の健康の大切さを体験してもらい、生涯における口腔の健康に対して家庭での気づきになればと考えます。東久留米市内のすべての公立保育園および希望する保育園を対象にお口の健康の大切さを伝えます。

5. 事業の内容

本年度、9 月中に東久留米市内の全ての公立保育園 5 園および公設民営保育園 2 園および市内にて希望する民営保育園 2 園において歯磨き指導を行う予定でありました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で園児の対象クラスの園児に複数名感染者が出たため、予防的観点から民営保育園 1 園は中止となりました。また公設民営保育園の 1 園では同じく感染者が出たため 12 月に延期での実施となりました。その他の 7 園では予定通り、東京都歯科衛生士会により派遣された歯科衛生士と本会より派遣の歯科園医および園のスタッフとが協力して、歯の健康の大切さを伝えることができました。3 歳児クラスおよび 4 歳児クラスも対象とする予定でございましたが、令和 4 年 7 月 14 日には事前の打ち合わせを行い、感染対策の面から 5 歳児クラスのみを対象として人数制限をすることになりました。その結果、新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、5 歳児クラスを対象として、歯科園医・歯科衛生士によるパネルシアターを行いました。ここでは、歯ブラシの大切さ、生活のリズムを整える大切さを伝えました。3 つのお約束として、食べることに関する良い習慣・悪い習慣を伝えました。さらに、歯ブラシ指導として、ひがしくん（説明用顎模型）を使用して歯科衛生士が歯ブラシの当て方、磨く順番、磨く時間の目安を説明しました。その際本会推奨の歯ブラシを提供して、歯ブラシを実際に手にもってもらい持ち方の練習だけは行うことができました。事前の打ち合わせにより本年度は新型コロナウイルス感染症予防に配慮して、染め出しおよび歯みがきの実践は行うことができませんでした。よって本年度は上記のように園医・歯科衛生士が正しい磨きかたを模型を使用した丁寧な説明を行いました。

家庭ではアンケートをお願いして、子供のお口の健康にどんな関心があるのかを調査した。なお令和 5 年 1 月 19 日には東久留米市歯科医師会、東京都衛生士会、東久留米市家庭部子育て支援課、看護師会が対面にて本年度反省会および次年度に向けての反省会を行いました。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて理想的な指導が行えたとは言えませんでした。コロナ禍でも指導を実施できたことは良かったと思います。今後も同じような状況が続くかとは思いますが、3 歳児 4 歳児も対象に加えて口腔の健康の大切さを伝えていければと思います。また、本年度実施できなかった染め出しと実際の歯ブラシ指導を行えるように準備だけは整えて事前の打ち合わせを行いたいと思います。やはりマスク越しの説明では伝わり方が不十分な面があるため次年度はマスクなしの状態でも園児に歯磨きの大切さやじっくりと自分のお口の中を観察することを実践できるように園側とも十分に協議して準備できればと思います。

